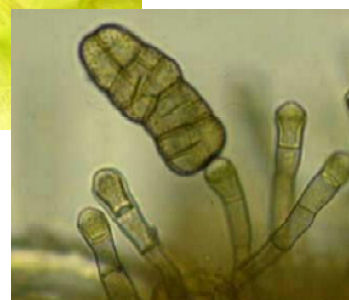


カラコエ斑点症の防除対策を確立

全国有数の生産量を誇るカラコエに斑点症状が発生して、市場性が問題となっていたのでその原因を調べた結果、*Stemphylium* sp. が主な病原であることを明らかにしました。この *Stemphylium* sp. の防除対策は、耕種的には可能な限り多湿条件を避けることや発病株の早期除去に努めること、また、農薬による防除としては、ポリペリン水和剤等による予防的防除が有効であることを明らかにしました。さらに、トマト黄化えそウイルス (TSWV) によるえそ症状や無病徴感染している未同定のウイルスが認められたので、ウイルスフリー株を育成しました。



Stemphylium sp. によるカラコエの斑点症状

斑点症状の病原菌 *Stemphylium* sp. の分生子と分生子柄



TSWVによる輪紋えそ症状



茎頂培養によるウイルスフリー株の育成

(埼玉県農林総合研究センター 生物機能担当 TEL 0480-21-1113)